

平成 26 年度第 3 回岐阜県地方独立行政法人評価委員会(県立病院関係)

－ 議 事 要 旨 －

1 日 時 平成 26 年 11 月 28 日(金) 10:00～11:15

2 場 所 岐阜県庁 4 階 特別会議室

3 出席者

[委 員] 清島委員長、石原委員、富田委員、林委員

[専門委員] 金山専門委員

[法 人] (地方独立行政法人岐阜県総合医療センター) 滝谷理事長、富田副理事長兼事務局長
(地方独立行政法人岐阜県立多治見病院) 原田理事長、松葉副理事長兼事務局長
(地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院) 山森理事長、藤枝理事兼事務局長

[設立団体] (岐阜県) 石原健康福祉部長、久保田健康福祉部次長、兼山地域医療推進課長、
小野医師確保対策監兼総括管理監、鈴木県立病院・看護大学法人係長

議事概要

○報告事項

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の第2期中期目標について

県民意見募集（パブリック・コメント）の結果報告及び別添「報告（総）（多）（下）」のとおり平成26年第5回岐阜県議会定例会の議決のうえ法人へ指示する旨を事務局から説明。

○審議事項

【議題1】

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の第2期中期計画（素案）について

資料①～資料③に従い各理事長から説明

<岐阜県総合医療センターについて>

質疑応答

【石原委員】

医療型障害児入所施設の運営について、看護師や介護福祉士に対する教育は。

【滝谷理事長】

重心障がい児病棟は平成27年度末頃にオープン予定である。

既に、看護師等に対する教育は実施している。また、介護福祉士に関しては、現在募集中であり、オープンまでに研修等を実施して準備していく。

【富田委員】

診療情報のバックアップシステムの構築についての具体的な方法は。

【滝谷理事長】

早急に取り組もうと考えていることは、基本データを群馬県館林市にある富士通データセンターにバックアップすることである。基本データ以外については今後検討していく。

【富田委員】

県レベルで検討していくべきことかもしれないが、県内の災害拠点病院間での診療情報を共有していくことも必要であるとする。そうなった場合には、中心的な役割を期待したい。

また、他県の病院との間において、診療情報の共有又は共有する予定はあるのか。

【滝谷理事長】

現在のところ、ありません。

【清島委員長】

PICU（小児集中治療室）について、第2期中期計画期間中に6床まで増床することとしているが、医師は充足しているのか。

【滝谷理事長】

医師のみでなく看護師等も含め、確保・育成に取り組んでいく。

【清島委員長】

小児医療について、カナダの大学への医師の研修派遣は何年位を予定しているのか。

【滝谷理事長】

2年位を予定している。

<岐阜県立多治見病院について>

【清島委員長】

現在の中央診療棟は、何年前に整備されたものなのか。

【原田理事長】

33年前である。

【富田委員】

現在の中央診療棟には手術室があるのか。

【原田理事長】

手術室のほか、外来診療室などがある。

【金山委員】

貴院から愛知県の医療機関に患者が転院された場合において、その医療機関との連絡や情報共有は行っているのか。

【原田理事長】

行っている。

【清島委員】

近隣の医療機関等との役割分担及び連携について、東濃・可児地域の医療機関との間で院長会議を実施していることでしたが、どのくらいの医療機関が参加されているのか。

【原田理事長】

当院を含め、東濃・可児地域の8つ総合病院が参加している。

<岐阜県立下呂温泉病院について>

【富田委員】

貴院の施設を使って介護職員に対して指導することは、介護保険との関係からできないと説明されたが、具体的にはどのようなことなのか。

【山森理事長】

以前、当院で介護施設の職員研修を実施しようとした際に、保健所に確認したところ、介護保険の患者を連れてきて当院の医療機器を用いて研修を実施することや、当院の患者に対して介護施設の職員が研修を実施することについては、医療保険と介護保険の関係上、認められない旨の回答があった。

但し、患者を介さず、病院スタッフが介護施設の職員に対して研修を実施することは、保険制度と関係なく可能である。

【富田委員】

貴院の医療スタッフが往診することはできるのか。

【山森理事長】

できる。

【議題2】

岐阜県病院関係地方独立行政法人の中期目標期間に係る業務の実績に関する評価実施要領(案)について

資料④に従い事務局から説明